

多奈川ビオトープ

生きものの図鑑 2014



多奈川ビオトープ企画・運営会議

製作：日本ビオトープ管理士会近畿支部

多奈川ビオトープとは…

- ★「多奈川ビオトープ」は、岬町の「多奈川地区多目的公園」の中にあります。
- ★かつて、この場所は山や谷が広がっており、たくさんの生きものが暮らしていたと思われませんが、「関西国際空港」二期事業の土砂採取場所となり、跡地は「多目的公園」として整備されました。
- ★その多目的公園の一角に、「多奈川ビオトープ」があり、かつてここに暮らしていた生きものたちを呼び戻そうと、彼らの生育・生息場所となる湿地や草地を創出・維持管理したり、もともとこの場所に生育していた樹木を植栽するなど、「自然再生」に取り組んでいるところです。
- ★ボランティアによる「自然再生活動」だけでなく、「自然観察会」などのイベントも計画しておりますので、皆様も一度お越しになられてはいかがでしょうか！！
(イベント情報は、岬町のホームページをご覧ください。)



自然再生活動



ビオトープ池



自然観察会



多奈川ビオトープ

この図鑑ができるまで…

★2014年の「生きもの調査」は、3・5・7・9・11・1月の「6回」行いました。

★毎回、現地に集まってくれた子どもたちと一緒に、1時間30分ほどかけて、調査と地図を作りました！



① 調査の方法を説明します！



② 早速「調査開始」。何か見つけたみたいです。



③ みんなで虫の特徴をじっくり観察！



④ 見つけた生きものを、「ふせん」に記入して…



⑤ 見つけた場所に貼り付けます。


















⑥ 「生きもの地図」のできあがり！！



多奈川ピオトープ

春（3～5月頃）の多奈川ビオトープ ①

		
ノウサギ	トビ	ホオジロ
		
カシラダカ	コオイムシ（雄）	アマガエル
		
オトシブミ	ナナホシテントウ	クマバチ
		
シオカラトンボ（交尾）	ホソミオツネントンボ	クロイトトンボ（産卵）
		
ケラ	クビキリギス	ジョウカイボン

春（3～5月頃）の多奈川ビオトープ ②



カラスノエンドウ



カスマグサ



スズメノエンドウ



タチイヌノフグリ



タネツケバナ



ナズナ



ハコベ



ヒメオドリコソウ



ホトケノザ



オランダミミナグサ



セイヨウミツバチ (ナルトサワギク)



春の「多奈川ビオトープ」

夏（6～8月頃）の多奈川ビオトープ ①



ツバメ



セッカ



ニホントカゲ（幼体）



ニホンカナヘビ



ミンミンゼミ



ツクツクボウシ



カブトムシ



ゴマダラカミキリ



カナブン



アオカナブン



マメコガネ



スズメバチ（3種）



コガネグモ



ナガコガネグモ



ナナホシテントウ

夏（6～8月頃）の多奈川ビオトープ ②



ミズカマキリ



トノサマガエル（卵塊）



ハラビロトンボ（雄）



ハラビロトンボ（雌）



チョウトンボ



ムスジイトンボ



コオニユリ



カタバミ



オカトラノオ



ガ マ


















ヒメガマ



夏の「多奈川ビオトープ」 （アオモンイトンボの交尾）

秋（9～11月頃）の多奈川ビオトープ ①

		
ミサゴ	モズ（雌）	ジョウビタキ（雌）
		
カルガモ	ツクツクボウシ	ナナホシテントウ
		
セイヨウミツバチ	ニホンミツバチ	オオスズメバチ
		
コアオハナムグリ	ジョロウグモ	ナガコガネグモ（卵のう）
		
マイコアカネ	オンバッタ	ヒメジュウジナガカメムシ

秋（9～11月頃）の多奈川ビオトープ ②



センニンソウ



ポタンツル



ミゾソバ



アレチヌスビトハギ（左：花・右：実）



アメリカセンダングサ



クサギ



クズ



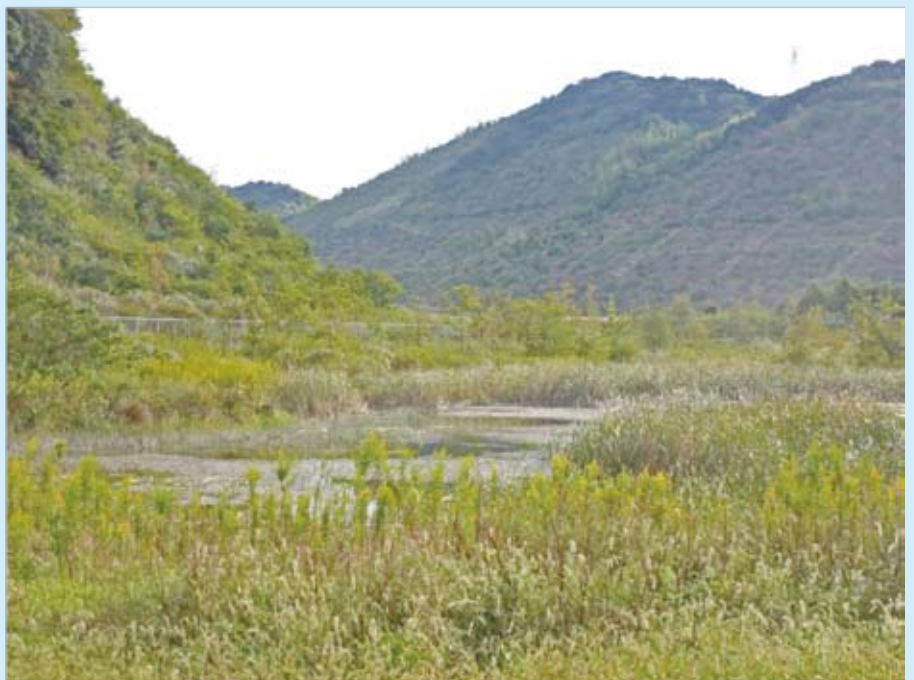
イシミカワ



メダカ



モクスガニ



秋の「多奈川ビオトープ」

冬（12～2月頃）の多奈川ビオトープ ①



ノウサギ（左：成獣・右：糞）



オオタカ



トビ



モズ（雌）



ジョウビタキ（雌）



オオバン



マガモ（雌）



ヨモギハムシ



メダカ



コオイムシ



ミズカマキリ



モリチャバネゴキブリ（幼虫・右）



チャミノガ


















オオミノガ

		
<p>はやにえ（ニホンカナヘビ）</p>	<p>はやにえ（ツチイナゴ）</p>	<p>オオカマキリ（卵鞘）</p>
		
<p>ハラビロカマキリ（卵鞘）</p>	<p>チョウセンカマキリ（卵鞘）</p>	<p>セグロアシナガバチ（越冬）</p>
		
<p>ガマの穂</p>	<p>ノイバラ（実）</p>	<p>オオイヌノフグリ</p>
		
<p>ヤマアカガエル（卵塊）</p>		
	<p>冬の「多奈川ビオトープ」</p>	
<p>ウシガエル（オタマジャクシ）</p>		

多奈川ビオトープの チョウ・トンボ ①
















★季節により、飛んでいる種類が違ったり、同じ種類でも羽の色が違ったりします。

		
ナミアゲハ	ゴマダラチョウ	キタテハ
		
ルリタテハ	イチモンジセセリ	
		
テングチョウ	ツバメシジミ	
		
ベニシジミ	ルリシジミ	ヤマトシジミ
		
オツネントンボ	ホソミオツネントンボ	アオモンイトトンボ (交尾)

		
クロイトトンボ	ムスジイトトンボ	アオイトトンボ (産卵)
		
シオカラトンボ (交尾)	ショウジョウトンボ	ギンヤンマ (産卵)
		
ハラビロトンボ (雌)	台湾ウチワヤンマ	チョウトンボ
		
キトンボ	ネキトンボ	リスアカネ
		
マユタテアカネ	マイコアカネ	コノシメトンボ

多奈川ビオトープの バッタ・コオロギの仲間

★バッタの仲間は、同じ種類でもその体色が「緑色」や「褐色」のものがあるようです。

		
クビキリギリス (左: 緑色型・右: 褐色型)		クルマバッタ
		
トノサマバッタ (左: 緑色型・右: 褐色型)		キリギリス (雌)
		
オンブバッタ (左: 緑色型・右: 褐色型)		コハネイナゴ
		
ショウリョウバッタ (左: 緑色型 雄・右: 中間型 雌)		クダマキモドキ
		
ツチイナゴ (左: 幼虫・右: 成虫)		オオカマキリ (交尾)

多奈川ビオトープの 植生遷移

★数年前までは「ナルトサワギク」(特定外来生物)が全域に広がっていましたが、次第に「セイタカアワダチソウ」や「ススキ」が入り込み、今ではこの3種が「競合」しています。

(この3種の内、かつての勢いを失った「ナルトサワギク」は、年々衰退しているようです…)

		
<p style="text-align: center;">2008年 晩秋</p>	<p style="text-align: center;">2013年 秋</p>	
		
<p style="text-align: center;">2008年 晩秋</p>	<p style="text-align: center;">2014年 晩秋</p>	
		
<p style="text-align: center;">2008年 晩秋</p>	<p style="text-align: center;">ナルトサワギク</p>	<p style="text-align: center;">2010年 晩秋</p>
		
<p style="text-align: center;">2010年 晩秋</p>	<p style="text-align: center;">2012年 冬</p>	<p style="text-align: center;">セイタカアワダチソウ・ススキ・ナルトサワギク</p>

★ここでは、いろいろな生きものたちが「食う 食われる」の関係でつながっています。



「アオモンイトトンボ」が「ムスジイトトンボ」を捕食



「クロイトトンボ」が「羽虫」を捕食



「アオメアブ」が「虫」を捕食



「シオヤアブ」が「コアオハナムグリ」を捕食



「シオカラトンボ (雌)」が、「ハナアブ」を捕食



「オオカマキリ」が「バッタ」を捕食



★モズ（野鳥）により「はやにえ」にされるのは、昆虫だけでなくカエル（両生類）やトカゲ（は虫類）までも…



「コガネグモ」が「コアオハナムグリ」を捕食



「ナガコガネグモ」が「赤トンボ」を捕食



「ハラビロカマキリ」が「ツクツクボウシ」を捕食



「クモ」が「ガ」を捕食



「トゲナナフシ」のはやにえ



「カマキリ」の雌が、交尾中に雄を食べる…(>_<)



平成 26 年 3 月 1 日 調査

■ほ乳類： ノウサギ（糞）、イノシシ（糞）

※：個体数が多い

■鳥 類： トビ、ハシボソガラス、モズ、ホオジロ、カシラダカ

■は虫類： ー

■両生類： ニホンアカガエル（卵塊・幼生）

■昆虫類： 【成虫】 ツチイナゴ、クモ※（コモリグモの仲間）、ナナホシテントウ※、
コガタルリハムシ※、アリ、コオイムシ

【幼虫】 モリチャバネゴキブリ※、トンボ（ヤゴ）、イトトンボ（ヤゴ）、
ケバエ※、オオミノガ、チャミノガ※、コガネムシ

【 卵 】 オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ

■魚 類： メダカ※、モツゴ

■貝 類： カワニナ※

■植 物： 【開 花】 オオイヌノフグリ、ホトケノザ、タネツケバナ、ナルトサワギク
【花なし】 ヨモギ、ガマ、ススキ、セイタカアワダチソウ



多奈川ビオトープ

平成 26 年 5 月 17 日 調査

- ほ乳類： ノウサギ（痕跡） 《参考》5/10 成体確認
- 鳥 類： トビ、ホオジロ、セッカ、ツバメ、スズメ（幼鳥）、※：個体数が多い
- は虫類： ニホンカナヘビ、ニホントカゲ
- 両生類： ニホンアカガエル（成体・幼生）、ウシガエル（幼体）、シュレーゲルアオガエル（声）
- 昆虫類：
 - 【成虫】 ツチイナゴ、クビキリギス、マルカメムシ※、ナガメ、ホソヘリカメムシ
 キタキチョウ、ゴマダラチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ
 モンシロチョウ、ナミアゲハ、ルリタテハ
 シオカラトンボ※、ショウジョウトンボ、ギンヤンマ、オツネントンボ、
 アオモンイトトンボ※、クロイトトンボ※、ムスジイトトンボ※
 ナナホシテントウ※、ナミテントウ、ヤナギハムシ※、オトシブミ
 コガタルリハムシ※、コアオハナムグリ、ジョウカイボン
 クモ※（コモリグモ類）、オニグモ、ハエトリグモ、ゴミグモ、コガネグモ、
 セイヨウミツバチ、オオスズメバチ、ヒラタアブ、アシナガバチ、アリ
 コオイムシ、ミズスマシ、アメンボ、
 - 【幼虫】 モリチャバネゴキブリ※、トンボ類（ヤゴ）、カマキリ、
 オオミノガ、チャミノガ※、イモムシ・毛虫※、キリギリス※、
 - 【卵】 オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ、コカマキリ
- 魚介類： メダカ※、カワナ※
- 植 物：
 - 【開 花】 ナルトサワギク、コメツブツメクサ、カタバミ、カラスノエンドウ
 - 【花なし】 ヨモギ、ガマ、ススキ、セイタカアワダチソウ、ギシギシ



多奈川ビオトープ

平成 26 年 7 月 5 日 調査

■鳥 類： トビ、ホオジロ、セッカ、ツバメ

■は虫類： ニホンカナヘビ、ニホントカゲ

※：個体数が多い

■両生類： ニホンアカガエル（成体・幼生）、ウシガエル（幼体）、シュレーゲルアオガエル（声）

■昆虫類： 【成虫】ゴマダラカミキリ、カナブン、アオハナムグリ、コアオハナムグリ、アオドウガネ、シロテンハナムグリ、マメコガネ、ヨツボシケシキスイ、サビコキリ、キマワリ
 クルマバッタ、トノサマバッタ、ショウリョウバッタ、キリギリス、ヒメギス、コロギス、ツユムシ、ケラ
 マルカメムシ※、フチヒゲカメムシ、アワフキムシ
 キタキチョウ、モンシロチョウ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ベニシジミ、ルリシジミ、ツバメシジミ
 シオカラトンボ※、ショウジョウトンボ※、チョウトンボ※、マイコアカネ、ギンヤンマ、台湾ンウチワヤンマ
 アオモンイトトンボ※、クロイトトンボ、ムスジイトトンボ
 ナナホシテントウ※、ナミテントウ、オジロアシナガゾウムシ、ヨモギハムシ※
 クモ※（コモリグモ類）、オニグモ、ハエトリグモ、ゴミグモ、コガネグモ※、オオスズメバチ、ヒメスズメバチ、コガタスズメバチ、サトシガバチ、アシナガバチ、シオヤアブ、アリ、モリチャバネゴキブリ※
 コオイムシ、ミズスマシ、アメンボ、

【幼虫】トンボ類（ヤゴ）、カマキリ、クサキリ、イモムシ・毛虫

■魚介類： メダカ※、カワニナ※

■植 物： 【開 花】ヒメジョオン※、ナルトサワギク、ツユクサ、オカトラノオ、カヤツリグサ
 アレチハナガサ

【花なし】ヨモギ、ヒメガマ、ススキ、セイタカアワダチソウ、ギシギシ



多奈川ビオトープ

平成 26 年 9 月 6 日 調査

■鳥類： トビ、ミサゴ、ホオジロ、モズ

■は虫類： マムシ

■両生類： トノサマガエル（成体）、モクズガニ、ウシガエル（声）、

※：個体数が多い

■昆虫類： 【成虫】ゴマダラカミキリ、シロテンハナムグリ、コアオハナムグリ、サビコキリ
 クルマバッタ、トノサマバッタ、ショウリョウバッタ、キリギリス、ツチバッタ、ツチイナゴ、オンブバッタ、コバネイナゴ、ハネナガイナゴ
 オオカマキリ、ハラビロカマキリ
 ブチヒゲカメムシ、マルカメムシ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ
 アオメアブ、オオスズメバチ、セグロアシナガバチ。セイヨウミツバチ
 キタキチョウ、イチモンジセセリ、キマダラセセリ、キシタバ
 シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、マイコアカネ※、リスアカネ、マユタテアカネ、ウスバキトンボ、アキアカネ、ムスジイトトンボ
 ナナホシテントウ、ヨモギハムシ※、
 ジョロウクモ※、アリ、モリチャバネゴキブリ※
 コオイムシ、アメンボ、

【幼虫】トンボ類（ヤゴ）、オオカマキリ、シャクトリムシ、チャミノガ

■魚介類： メダカ※、カワニナ※

■植 物： 【開 花】ナルトサワギク、ツユクサ、アレチハナガサ、センニンソウ、ポタンヅル、ススキ、クサギ、セイタカアワダチソウ、ヘクソカツラ、クズ、ミソソバ、アレチヌスビトハギ、イタドリ、ヨウシュヤマゴボウ、オオマツヨイグサ、カタバミ、

【花なし】ヨモギ、ガマ、イヌビワ（実）、エノキ（実）



多奈川ピオトープ

平成 26 年 11 月 1 日 調査

- 鳥 類： トビ、ミサゴ、ホオジロ、モズ、ジョウビタキ、アオジ
- は虫類： ー
- 両生類： ウシガエル（声）※
- 昆虫類： 【成虫】 ショウリョウバッタ、アシグロツユムシ、オンブバッタ※、
クビキリギス、ハネナガイナゴ
エンマコオロギ、モリオカメコオロギ
オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ
マルカメムシ、ホソヘリカメムシ
キタキチョウ、ベニシジミ、ルリシジミ、ウラナミシジミ、
ヒメアカタテハ
マイコアカネ※、ウスバキトンボ、リスアカネ
ナナホシテントウ※、ヨモギハムシ※、ゴミムシ類、ジョロウグモ※
オオスズメバチ、セイヨウミツバチ、ニホンミツバチ、オオハナアブ、
アリ、モリチャバネゴキブリ※
コオイムシ、ミズスマシ
- 【幼虫】 トンボ類（ヤゴ）
- 魚介類： メダカ※、モツゴ、カワニナ※
- 植 物： 【開 花】 ナルトサワギク、セイタカアワダチソウ、アレチハナガサ、
セイヨウタンポポ、アメリカセンダングサ
- 【花なし】 ヨモギ、ヒメガマ、ススキ、アレチヌスビトハギ

※：個体数が多い



多奈川ビオトープ

平成 27 年 1 月 10 日 調査

- ほ乳類： ノウサギ（茶色毛）
- 鳥 類： トビ、オオタカ、ホオジロ、モズ（♀）、ジョウビタキ（♀）、アオジ
- は虫類： ー
- 両生類： ー
- 昆虫類： 【成虫】ヨモギハムシ、ナナホシテントウ、モリチャバネゴキブリ※
コオイムシ、マルカメムシ、ダンゴムシ
【幼虫】オオミノガ、チャミノガ※、ケバエ、トンボ類（ヤゴ）
【虫えい】クヌギエダイガフシ、クヌギハマルタマフシ
【卵鞘】オオカマキリ（卵）、チョウセンカマキリ（卵）、ハラビロカマキリ（卵）※
コカマキリ（卵）
【はやにえ】トゲナナフシ、オンブバッタ、ショウリョウバッタ、ツユムシ、
カマキリ、トノサマバッタ、ツユムシ
- 魚介類： メダカ※、カワヨシノボリ、カワニナ※
- 植 物： 【開 花】ナルトサワギク、セイヨウタンポポ、ホトケノザ
【開花前】ハンノキ
【花なし】水草※、ヨモギ、ヒメガマ※、アレチヌスビトハギ、
セイトカアワダチソウ、アレチハナガサ、アメリカセンダングサ

※：個体数が多い



多奈川ビオトープ



多奈川ビオトープ



- 主催 : 多奈川ビオトープ企画・運営会議
(南海電気鉄道株式会社・日本ビオトープ管理士会近畿支部・岬町・大阪府)
- 調査 : “生きもの図鑑づくり” イベントに参加された「子どもたち」!
- 調査計画・指導 : 日本ビオトープ管理士会 近畿支部
- 図鑑製作 : 日本ビオトープ管理士会 近畿支部
- 生きもの写真 : 池口直樹 (日本ビオトープ管理士会 近畿支部)
- 発行 : 平成 27 年 3 月 【禁無断転載】

